不確かさカテゴリー分類結果一覧表（Ⅰ定性試験）

JNLA認定分野	試験方法	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
電気分野	構造試験	C6065	家庭用電子機器の安全性	5．1表示及び取扱説明書	目視試験。規格要求にある手順に則り、試験後における試験適用部分の状態を確認し、判別の可否を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6065	家庭用電子機器の安全性	5．3定格評価	目視検査。規格要求に則り、規格で要求されている表示がなされているかどうかを確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6065	家庭用電子機器の安全性	9．1．7放電試験（電源プラグの引き抜き）	規格要求に則り、電源OFF後の電源接続プラグのピンに残留する電気エネルギー／電圧を測定／確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6065	家庭用電子機器の安全性	19．1、19．2機械的安定性	規格要求に則り、被測定物の機械安定性を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	1．7．15耐久性（表示及び取扱表示）	目視試験。規格要求にある手順に則り、試験後における試験適用部分の状態を確認し、判別の可否を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	2．1．1、2．1．2充電部品の保護（充電部品への接近）	目視試験。規格要求にある手順に則り、危険活電部の有無の確認や、危険活電部への接近／接触の可能性を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	2．1．3．1ELV回路（内部配線への接近）	目視試験。規格要求にある手順に則り、危険活電部の有無の確認や、危険活電部への接近／接触の可能性を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	2．1．5操作者接近区域におけるエネルギーの危険	目視試験。規格要求にある手順に則り、危険活電部の有無や、危険活電部への接近／接触の可能性を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	2．1．10一次側コンデンサの放電	規格要求に則り、電源OFF後の電源接続プラグのピンに残留する電気エネルギー／電圧を測定／確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	4．1．1安定性	規格要求に則り、被測定物の物理的な安定性を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。

JNLA認定分野	試験方法	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	4．2．2、4．2．3　30Nの外力試験／250Nの外力試験 機械的強度及び外力に対する保護）	規格要求に則り、被測定物が備えるエンクロージャーの機械的強度が規格要求を満足するものであるかどうかを確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	機械的試験	C6950	情報技術機器の安全性	4．2．4、4．2．5鋼球試験／落下試験 機械的強度及び外力に対する保護）	目視試験。規格要求に則り、被測定物が備えるエンクロージャーの機械的強度が規格要求を満足するものであるかどうかを確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C6950	情報技術機器の安全性	4．2．6内部応力緩み試験 機械的強度及び外力に対する保護）	規格要求に則り、被測定物の樹脂のエンクロージャーの高温環境下での強度や外形の変化を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	難燃性試験	C6950	情報技術機器の安全性	Annex A1総質量が18kgを越える可搬型機器、及び据置型機器の防火用エンクロージャの難燃性試験	規格要求に則り、該当部分の燃焼試験を実施する。被試験物の燃焼速度などを確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	難燃性試験	C6950	情報技術機器の安全性	Annex A6 V－2区分のための難燃性試験	規格要求に則り、該当部分の燃焼試験を実施する。被試験物の燃焼速度などを確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C9206	電気オーブン	7．1構造試験	目視試験。規格要求にある手順に則り、被試験物の外観や構造を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	機械的試験	C9206	電気オーブン	7．12扉開閉部の耐久性試験	扉の開閉を無通電で毎分20回の割合で5000回行う。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	耐久性試験	C9213	電気ポットの安全性	8．13湯沸し用電熱線の耐久性試験	規定に基づき通電及び休止の操作を50回繰り返す。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。

JNLA認定分野	試験方法	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
電気分野	構造試験	C9335─1	家庭用及びこれに類する電気機器の安全性	7．14表示及び取扱説明書	目視試験。規格要求にある手順に則り、試験後における試験適用部分の状態を確認し、判別の可否を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	構造試験	C9335─1	家庭用及びこれに類する電気機器の安全性	8．1充電部への接近に対する保護	目視試験。規格要求にある手順に則り、被測定物の構造を確認する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない。
電気分野	絶縁試験	C9335─1	家庭用及びこれに類する電気機器の安全性	13．3運転時における耐電圧	運転状態において、電源の片側と可触金属部との間で、所要の高電圧を1分間加え、絶縁破壊の有無を確認する。	Ⅱ定量試験Ａ	結果が数値で表されない。
繊維分野	耐光・汗耐光堅ろう度試験	L0842	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法		試験片を規定の方法に基づいて紫外線カーボンアーク灯で処理し、取り出して試験片の変退色の程度をブルースケールを用いて比較し、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	耐光・汗耐光堅ろう度試験	L0843	キセノンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法		試験片を規定の方法で露光後、試験片とブルースケールを2時間以上暗所に放置した後、灰色下敷上に並べ、試験片とブルースケールの変退色を視感によって判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	洗濯・ドライクリーニング・塩素処理水堅ろう度試験	L0844	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて試験液に入れて処理し、水洗して乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	汗・水・海水・昇華堅ろう度試験	L0846	水に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて水で処理し、取り出して乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	汗・水・海水・昇華堅ろう度試験	L0847	海水に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて塩化ナトリウム溶液で処理し、取り出して乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	汗・水・海水・昇華堅ろう度試験	L0848	汗に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて人工汗液で処理し、取り出して乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	摩擦堅ろう度試験	L0849	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法		摩擦試験機を用いて、試験片と摩擦用白綿布とを互い摩擦し、摩擦用白綿布の着色の程度を汚染用グレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断

JNLA認定分野	試験方法	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
繊維分野	汗・水・海水・昇華堅ろう度試験	L0854	貯蔵中昇華に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて乾熱処理し、昇華による試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	洗濯・ドライクリーニング・塩素処理水堅ろう度試験	L0860	ドライクリーニングに対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいてドライクリーニング溶液で処理後、新たな液ですすぎ脱水乾燥後、試験片の変退色と添付白布の汚染の程度をグレースケールと比較して、その堅牢度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	洗濯・ドライクリーニング・塩素処理水堅ろう度試験	L0884	塩素処理水に対する染色堅ろう度試験方法		複合試験片を規定の方法に基づいて、次亜塩素酸ナトリウムの希釈溶液で処理し、取り出して乾燥後、試験片の変退色の程度をグレースケールと比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色の変化の目視比較による判断
繊維分野	耐光・汗耐光堅ろう度試験	L0888	光及び汗に対する染色堅ろう度試験方法		試験片を規定の方法に基づき人工汗液で処理し、試験片とブルースケールを試験ホルダに取り付け、試験片回転枠に取り付ける。キセノンランプ又は紫外線カーボンアークの光源で露光し、試験片と変退色用ブルースケールの変退色とを比較して、その堅ろう度を判定する。	Ⅰ定性試験	色見本との目視比較による判断
繊維分野	取扱性能試験	L0217	取扱性能試験		洗い方（水洗い）、塩素漂白の可否、アイロンの掛け方及びドライクリーニングについて規定に基づく試験を行い、変退色、汚染、寸法変化、縫いの変化などの品質を損なう変化の有無を目視で確認する。	Ⅰ定性試験	試験結果が数値で表されない定性試験
鉄鋼・非鉄金属分野	材料曲げ試験	Z2248	金属材料曲げ試験方法		試験片を規定の形状になるように曲げ、湾曲部外側にき裂等がないか調べる。	Ⅰ定性試験	試験結果は数値ではなく、裂けきず等の欠陥の有無で表現するため。
土木・建築分野	セメント（及び混和剤材）試験	R5201	セメントの物理試験方法	9. 安定性試験	24時間養生したセメントペーストを90分間煮沸して、自然冷却した後、膨張性のひび割れ又はそりの有無を調べる。	Ⅰ定性試験	試験結果が試験体の欠陥の有無で表現するため。
土木・建築分野	骨材試験	A1105	細骨材の有機不純物試験方法		細骨材及び粗骨材（5mmふるいを全て通過するように粉砕する）を共栓付メスシリンダーにいれ3%水酸化ナトリウム溶液を加えて、24時間後に標準色と比べて判定する。	Ⅰ定性試験	試験溶液をと標準色液の濃淡を目視で比較する。
土木・建築分野	気密・水密・耐風圧試験	A1414	建築用構成材（パネル）及びその構成部分の性能試験方法	6. 5パネルの水密試験	パネルに毎分4リットル／m²の水を噴霧し、定められた加圧プロセスで加圧したときの室内側への漏水状況を観察する。	Ⅰ定性試験	漏水の有無の判断

JNLA認定分野	試験方法	JISの番号	JISの名称	試験方法の項目番号	試験の概要	カテゴリー分類結果	カテゴリー分類の理由・解析
土木・建築分野	気密・水密・耐風圧試験	A1517	建具の水密性試験方法		建具に毎分4リットル／m²の水を噴霧し、定められた加圧プロセスで加圧したときの室内側への漏水状況を観察する。	Ⅰ定性試験	漏水の有無の判断
土木・建築分野	材料強度試験	A5102	天然スレート	6．3　衝撃試験	試験体を砂上に置き、中央部に0．5kgのなす形おもりを規定の高さから落下させ、き裂などの異常の有無を目視により観察する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	材料強度試験	A5405	石綿セメント円筒	6．2　耐衝撃性試験	6時間以上浸せきした試験体を砂上に置き、中央部に0．5kgのなす形おもりを規定の高さから落下させ、管体の破壊の有無を目視により観察する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	建築構成部材の強度試験	A5702	硬質塩化ビニル波板	7．4衝撃試験	規定に基づき波の山頂に重錘を落下させ、その異常の有無を調べる。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	ルーフィング試験	A6013	改質アスファルトルーフィングシート	6．3外観	ルーフィングを平面に広げ、著しいわん曲や起伏の有無等を目視によって調べる。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	ルーフィング試験	A6013	改質アスファルトルーフィングシート	6．10耐へこみ性	試験片をコンクリート平板の平滑面の上に置き、その中心にへこみ試験器を24時間静置した後、へこみ試験器を取り除き、貫通した穴の有無を調べる。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	ルーフィング試験	A6013	改質アスファルトルーフィングシート	6．11耐疲労性	試験体を疲労試験機に固定し、0．5～2．5mmの拡大縮小を2分に1回の割合で、槽内温度20±2℃で200回、0±2℃で400回繰り返し終了後、下地板のき裂幅を2．5mmに拡大した状態で試験片表面のひび割れ・裂け・破断の有無を目視観察する。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	ルーフィング試験	A6013	改質アスファルトルーフィングシート	6．12耐折曲げ性	試験片を水平ローラーの上に載せ、直ちにマンドレルを300mm／minの速度で動かし、試験片を設定温度で180度に折り曲げて外面のき裂発生の有無を調べる。	Ⅰ定性試験	結果が数値で表されない定性試験。
土木・建築分野	気密・水密・耐風圧試験	A1414	建築用構成材（パネル）及びその構造部分の性能試験方法	6．5水密試験	建築用構成部材（パネル）を圧力箱に気密に取り付け、所定の圧力を負荷しながら所定量の散水を行い、試験体を越える漏水を目視観察する。	Ⅰ定性試験	測定の結果が漏水の有無で表される定性試験
土木・建築分野	防・耐火試験	R3204	網入板ガラス及び線入板ガラス	6．2加熱試験及び加熱後の衝撃試験	規定に基づき加熱したとき供試体に現れる現象を目視で確認する。加熱終了後に質量3kgの砂袋を、鉛直距離50cmの高さから振り子式に自由落下させてガラス面の中央に衝撃を与える。	Ⅰ定性試験	試験の結果が数値で表されない定性試験。